

# リスト音楽院留学生の近況



## 河村 飛鳥 (マスターコース21回生) 岐阜県出身

2015年、ぎふ・リスト音楽院マスターコースの留学選考会に合格し、2016年9月からパートタイムコースで1年間勉強しました。その後、6月末に行われた修士課程(マスター)の試験に合格することができ、今年の9月からは修士課程1年生として勉強しています。

パートタイムでは基本的にレッスンだけの1年でしたが、マスターはとても忙しい日々です。週2回のメインレッスンとは別に、室内楽、現代曲のレッスンが必修になり週4回のレッスンがあります。また、西洋音楽史や楽曲分析などの音楽に必要な学科は必修科目となっています。それとは別に卒業するために必要な選択科目もあります。例えば、英語やハンガリー語といった語学や、民族ダンスなどの授業が選択できます。実技試験は年2回あります。授業は英語のため英語ができれば問題ないですが、ハンガリーで生活する上では日常会話程度のハンガリー語を話せた方がより吸収できることが多いと思います。音楽院でのハンガリー語の授業は週2回、日本人の先生が丁寧に教えてくださるのでこちらへ来てから勉強しても遅くはないと思います。

修士課程の試験は実技と学科の2つです。実技は課題が決まらされていて、バッハの平均律、古典のソナタ全楽章、自由曲を45分以内。学科は楽曲分析、和声課題、音楽用語、イントロクイズの4つです。楽曲分析はモーツァルトまたはハイドンのピアノソナタ1楽章からランダムに1曲出題されて分析を行う問題。和声課題は、バスの音が10個提示されていて、それをもとに4声体を完成させる問題。音楽用語は10個の音楽用語に対して英語で意味を説明する問題。イントロクイズは10曲のイントロを聴いて、作曲家、曲名、時代などその曲について答える問題。実技と学科は2日間に分けて行われました。(2017年修士課程入試課題)

ハンガリーでの生活もあっという間に1年が過ぎました。日本と違って秋がとても短く暑い夏が終わったと思ったら、すぐに寒い冬の季節になります。これからはホットワインが美味しくなる季節で、ハロウィンやクリスマスなどのイベントで街も活気に溢れてきます。先日、日本人の新入生歓迎会が行われ、今年も多くの方が来られました。みんな仲が良く、助け合いながら生活しています。

年末年始は日本での演奏会、そして1月末は実技試験と忙しい毎日です。留学という限られた時間の中で最大の成果を出せるよう、1日1日を大切に、日本での演奏会はハンガリーで感じたことを最大限発揮できるよう頑張りたいです。



新入生歓迎会の様子



8月20日建国記念日の花火大会



英雄店場に飾られる手作りのオブジェ



クリスマスマーケット